

令和6年5月23日14時00分
近畿地方整備局
(同時発表: 阪神国際港湾(株))

神戸港 PC-18 コンテナターミナルにおける CONPAS の動作確認を行います ～神戸港では初となる CONPAS の運用開始に向け、システムの連携を確認～

これまで阪神港では CONPAS 導入に向け、大阪港 DICT 及び神戸港 PC-18 において試験運用等を実施し、令和6年3月29日から大阪港 DICT において CONPAS の運用開始しているところです。今回は、PC-18 西側拡張部新ゲートにおいて、輸入コンテナ(搬出・実入り)及び輸出コンテナ(搬入・実入り)を対象に、ゲート処理及びコンテナ動線の確認等を行います。

- ※CONPAS : Container Fast Pass の略称であり、コンテナターミナルのゲート前混雑の解消やコンテナトレーラーのターミナル滞在時間の短縮を図ることでコンテナ物流の効率化及び生産性向上を実現することを目的として、国土交通省が開発したシステム
- ※大阪港 DICT : 大阪港 夢洲コンテナターミナル
- ※神戸港 PC-18 : 神戸港 PC-18 上組コンテナターミナル

<概要>(詳細は「別紙」)

- 実施期間
令和6年5月27日(月)～31日(金)
- 実施場所
神戸港 ポートアイランド(第2期地区) PC-18 上組コンテナターミナル
PC-18 西側拡張部新ゲート
- 実施対象
輸入コンテナ(搬出・実入り)及び輸出コンテナ(搬入・実入り)
- 確認内容
 - ・ PC-18 西側拡張部新ゲートでの CONPAS と TOS(ターミナルオペレーションシステム)の連携確認
 - ・ コンテナトレーラーの動線確認 等

<取扱い>

<配布場所> 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、神戸海運記者クラブ、
神戸民放記者クラブ、みなと記者クラブ、港湾新聞社、神戸経済記者クラブ、
マリタイムデーリーニュース社、海事プレス、港湾空港タイムス

<問合せ先> 国土交通省 近畿地方整備局 港湾空港部

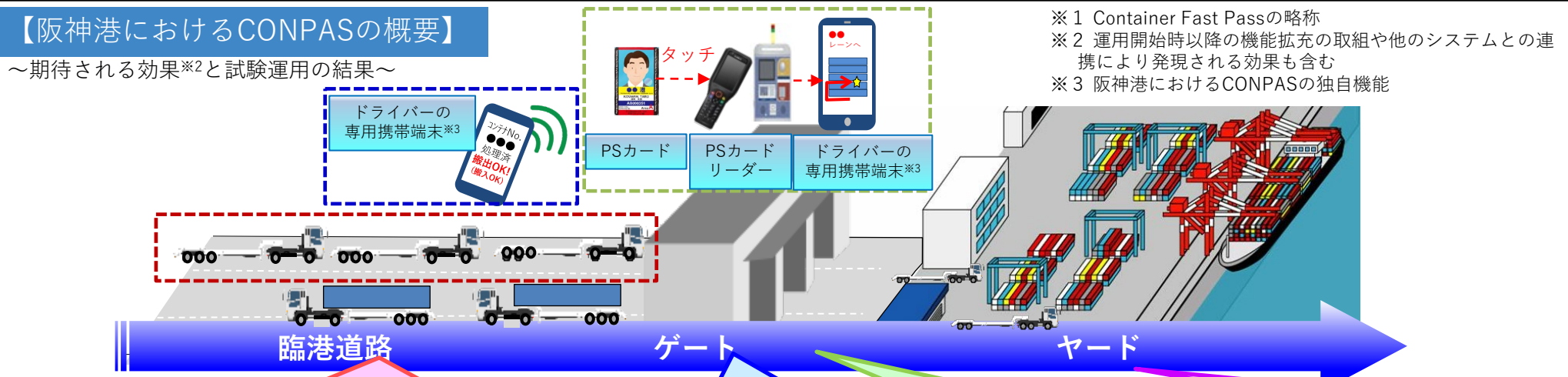
港湾高度利用調整官 いちのせ りんこ 一瀬 輪子
クルーズ振興・港湾物流企画室長 やまもと さとる 山本 悟
Tel:078-391-3102(直通)

阪神港におけるCONPASの概要

- CONPAS※1は、コンテナターミナルのゲート前混雑の解消やコンテナトレーラーのターミナル滞在時間の短縮を図り、コンテナ輸送の効率化及び生産性の向上を図ることを目的として国土交通省が開発したシステム。
- 阪神港では、利便性の向上を目指し、阪神港の独自機能としてCONPAS専用携帯端末等を導入。
- 阪神港におけるCONPAS導入ターミナル及び運用開始時期については、大阪港夢洲コンテナターミナルは令和6年3月29日に運用開始し、神戸港PC-18は令和6年度上半期を予定。

【阪神港におけるCONPASの概要】

～期待される効果※2と試験運用の結果～



- ※1 Container Fast Passの略称
- ※2 運用開始時以降の機能拡充の取組や他のシステムとの連携により発現される効果も含む
- ※3 阪神港におけるCONPASの独自機能

①搬出入予約
 予約制度の導入により、トレーラー到着時間を平準化

②搬出入情報の事前確認
 事前の搬出情報の確認、搬入情報の照合により、ゲートでのトラブルを回避

③PSカード/携帯端末の活用
 PSカードタッチ処理・携帯端末による行先表示※3により、ゲート処理時間を短縮

④予約情報・車両接近情報の活用
 CONPASを通じた車両情報等の活用により、ヤード処理を効率化

【試験運用結果】
 ・**予約制度・CONPAS専用レーン**の設定等により、ほぼ**全てのCONPAS車**が**予約時間どおり**に**コンテナターミナルゲート到着**
 ・大阪港DICT(実入搬出)の**ゲート前待機時間**については、CONPAS車は通常車と比べて、平均**約30分減**を確認
 ※大阪港DICT第5回試験運用・神戸港PC18第4回試験運用 (R5.7~8)

【試験運用結果】
 ・**ゲート処理時間** (実入搬出) が、平均**約1分減**
 ※大阪港DICT第2回試験運用 (R4.8~9)
 ※神戸港PC18第2回試験運用 (R3.8~9)
 ・CONPAS車では搬入票エラー等によるゲート待機無し
 ※大阪港DICT第5回試験運用・神戸港PC18第4回試験運用 (R5.7~8)

【試験運用結果】
 ・ターミナルオペレーションシステムへ、CONPAS予約情報等のデータ送信機能を構築

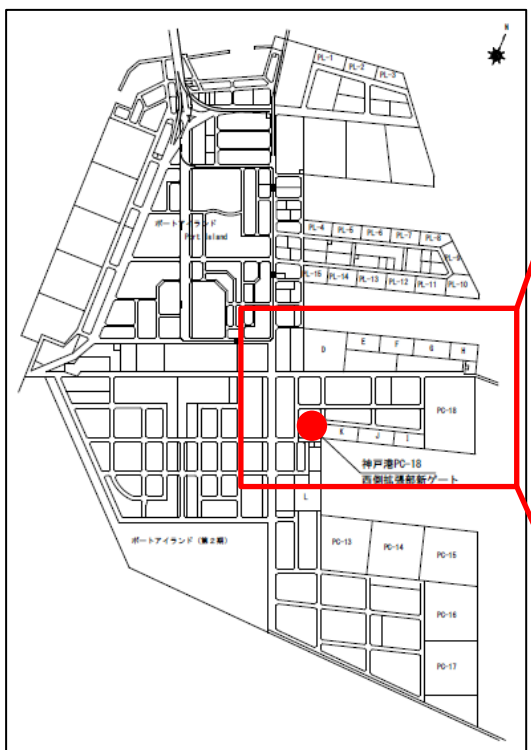
【更なる将来展開】
 ・CONPAS利用の拡大を図りつつ、トレーラー到着時間の平準化を目指す

【更なる将来展開】
 ・より効率的なゲート処理に向けて、CONPASの機能拡充を図る

【更なる将来展開】
 ・ターミナル事業者等と連携し、CONPAS予約情報の活用によるヤード処理の効率化を目指す

神戸港PC-18 動作確認概要

時期	令和6年5月27日（月）～31日（金）（5日間）
場所	神戸港ポートアイランド（第2期地区）PC-18 上組コンテナターミナル PC-18西側拡張部新ゲート
実施本数	約10本/日を予定
対象コンテナ	輸入コンテナ（実入り・搬出）、輸出コンテナ（実入り・搬入）
確認内容	<ul style="list-style-type: none"> ➢ PC-18西側拡張部新ゲートでのCOMPASとTOS（ターミナルオペレーションシステム）の連携確認 ➢ コンテナトレーラーの動線確認 等



神戸港ポートアイランド地区



動作確認実施場所
 PC-18西側拡張部
 新ゲート※
 ※2023年11月より運用開始

第1～4回試験運用実施場所

動作確認実施場所